

San Joaquin River Restoration Will Cost \$900M

サンウオーキン川の復元は 9 億ドルかかるであろう

連邦政府は、それを太平洋と再接続し、長年消滅していたサケの遡上を再開することを旨として、サンウオーキン川の歴史的な再建に値段を付けた。

<http://www.fresnobee.com/2012/06/30/2894653/price-for-san-joaquin-river-restoration.html>

Timeline is being pushed back three years.

工程表は、3 年押し戻されている。

Saturday, Jun. 30, 2012 | 11:56 PM Modified Sun, Jul 01, 2012 01:11 AM

平らな西のバレーの大草原の上で、サンウオーキン川は、トマト、ニンニク、およびタマネギの農地の中央でどのような他の用水路のようにでも見える--この溝が 9 億ドルの未来を持っている以外。



これは、Los Banos.の東のハイウェイ 152 の渡河部の下の全く干上がったサンウオーキン川の干上がった河床の部分である。

連邦政府は、それを太平洋と再接続し、長い間消滅したサケの遡上を再開することに向けられた、この川の歴史的な再生にその値段を付けた。

そして、それらのサケの遡上を完全に復元するためのスケジュールは、今年の 12 月 31 日の期限から約 3 年繰り下げられている。

米国開拓局は、先週、農夫と環境保護活動家からすでに熱を得ている、プロジェクト計画案の一部として、見積りとスケジュールを発表した。局がコメントを取り改訂をする一方で、計画は年の残りで案の形のままであり続けるであろう。

案は 150 マイルの復元の価格の範囲についての古い質問に答える。復元協定が農民、環境保護活動家、および連邦政府の間でサインされた 2006 年に、価格は 250,000 ドルと 10 億ドルの間で見積もられていた。

今、何年もの研究の後に、中心的なプロジェクトは 8 億 9200 万ドルと見積もられていて、価格は優先度が低いプロジェクトを含んで 20 億ドル以上に及び得るであろう。

しかし、中心的なプロジェクトは、復元の立ち上げを達成するのに十分であるべきであると、Alicia Forsythe(局のプログラムマネージャ)は言った。

「いくつかのコストは、いくつかの上で下に入るであろう」と彼女は言った。「私達は、私達が、私達が発表したコストのためにこれをする事ができると思う」。

これのように米国でサケの復元が全然ないものがある。150 マイル (824km) の復元(350 マイル (560km) の河川の中央部)は、川が 60 年の間ほとんど干上がっていたバレーの西の側に沿った数十マイルを含む。

復元は、環境保護活動家によってもたらされた 18 年の訴訟への決着の結果である。

西岸の川岸の農民は、彼らの操作または危惧種についての信頼性を被害に晒すであろう中途半端な努力を結果としてたぶんもたらして、新しい見積りがずっと低すぎることを恐れている。二次的なプロジェクトの中には、サケが、水の中で冷やされ続ける必要があるであろう、河岸の植生である。

他の農民の苦情: 中心的なプロジェクトについての 8 億 9200 万ドルの多くは政治に依存する。その約 3 分の 2 は、連邦政府と議会の補助金から毎年来る必要があり、それは確実なものではないことを意味する。

農民の Cannon Michael は、案を、「たくさん宣伝があり、資金がなく成功の可能性がお金とほとんどないプロジェクト」と呼んだ。

環境保護活動家は復元を支持するが、彼らはまた計画案について開拓局と不同意である。農民のように、彼らは、いくつかの重要なプロジェクトがより高い優先事項を持つべきであると言う。

そのようなプロジェクトの一つは、川に沿った砂利の採掘による巨大な池を取り除くであろうと彼らは言う。彼らが海洋に移動する時に、池の略奪的な魚は若いサケを食べ得るであろう。

依然、案は、カリフォルニアのすべての人に利益を与える、完全に復元された河川に向かって進捗している。

「私達が合意しない復元プログラム案の面があるが、それは有益である」と彼は言った。

東側の農民は、予算付けについてまた考慮する異なる懸念を持っている。東側の人は、彼らが復元によって失っている水のいくらかを返すであろうプロジェクトのために十分な資金を取ってこないかもしれないと彼らは心配する。

東川の人は、2006 年の協定にサインしてし、復元のための彼らの河川の灌漑水の平均 19%を与えて、復元に直接関係している。協定は、下流で復元の水を取水し、それを農民に返す努力を要求している。

協定はまた彼らが Friant-Kern 運河などの主要な灌漑水路を修復するのを手助けするであろう(それは時間とともに劣化し、それほど今水を運ばない)。

しかし、詳細がこれらのプロジェクトについて決定されるまでは、十分な資金あるかどうかを知ることは難しいと、15,000 人の東側の農民を代理している Friant Water Authority のゼネラルマネージャーの Ron Jacobsma は言う。入手可能な予算の約 10%だけが、それらのプロジェクトのために取っておかれると彼は言った。

「私達は、私達が必ずしも予算付けの公正な釣り合った比率を必ずしも得ていないように感じている」と Jacobsma は言った。「私達は、より多くを知る必要がある」。

川の復元は、2009 年に実験的な流れで始まり、訴訟の和解によって求められているように、サケの遡上の完全な復元についての今年 12 月 31 日の期限に直面していた。しかし、主要なボトルネックについての仕事は、工期に遅れていると局のプログラムマネージャーの Forsythe は言った。

これらのプロジェクトの中で最も大きなものは、重大に考案されて、広く耕作された西側(そこで、Friant ダムが 1940 年代の末期に構築されて以来ずっと、川は自然には流れていない)に沿って川を再建することであろう。

サケを戻すために、当局はバイパスチャンネルによって Mendota ダムと Sack ダムを魚に迂回させなければならない。はるか下流で、古い川床は再建されなければならないか、川はイーストサイドバイパスと呼ばれる変更された洪水水路に注がなければならない。

いくつかのプロジェクトは、2016 年に完成され、他のものは、2020 年に完成されると予測される。

「全体的に、私達はこれをプロセスとみなす」と Forsythe は言った。「私達はプロジェクトの工期から外れていた。私達は、私達が正しい活動をスケジューリングしたと思う」。

以上